

—あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ—



2021

第 68 号

8月21日

とめ

市議会だより



ザリガニ取れたよ！
(横山小学校)

目次

6月定期議会	2
代表質問	6
一般質問	9

6月定期議会

議案の一部が
動議により修正される



修正案の起立採決

今回の6月定期議会は、新人議員たち初の会派代表質問や一般質問など活発な議論が交わされ、議案については12議案を審議しました。
その中では第56号の一般会計補正予算について佐々木幸一議員ほか7人の議員から修正動議が提出され、補正予算の一部を修正した上で全ての議案を可決しました。

補正予算修正の動き

○(仮称)登米市子育て・新婚世帯向け住宅整備事業に係る事業者選定等支援業務

事業目的

人口減少の抑制、移住定住の促進に寄与する取組として「子育て・新婚世帯」を入居対象とした定住促進住宅の整備を推進する。

事業概要

国の「地域優良賃貸住宅制度」を活用し、市財政の負担軽減と効率的な事業運営とするため、民間活力を利用し事業を推進する。

論点

この事業趣旨は人口減少の抑制であり、移住定住の促進としているが、事業説明では公営住宅建て替え計画との関係が明らかでない。また、民間活力を利用するところがあるが、本当に効率化と事業予算の削減が図れるのかが示されていない。

修正動議内容

地域優良賃貸住宅整備事業への取組には民間供給と公共供給の2つの方法がある。

民間供給(PFI)の方式を利用すると長期にわたる契約となり、その間に行政側からのアプローチが困難になる。公共供給であれば、弾力的な運営が可能であり、他の人口減少対策などの施策との連携も見えてくる。

今回の政策は人口減少対策や移住定住の取組とすれば、むしろPFIによらない方法を選択する方が政策の趣旨に沿える。

また、移住定住を進める上での割合を「移住4割、定住6割」としている数字的な根拠も不明など、政策としての完成度を疑問視する。

よって、政策としての完成度を高めるためには、さらなる議論の必要性があると考え、今回の補正予算の中からこの部分の予算を削減した修正案を提案する。

◆6月定期議会審議結果(意見が分かれた議案について掲載しました)

議員名 議案名	議決結果	賛成	反対	採 決 結 果																									
				1 熊谷 康信	2 浅田 琢哉	3 遠藤 真理子	4 伊藤 善博	5 鈴木 実	6 永島 順子	7 首藤 忠則	8 曽根 充敏	9 佐々木 好博	10 須藤 幸喜	11 岩淵 正弘	12 佐藤 千賀子	13 熊谷 和弘	14 日下 俊	15 佐々木 幸一	16 工藤 淳子	17 武田 節夫	18 岩淵 正宏	19 中澤 宏	20 及川 昌憲	21 伊藤 栄	22 田口 政信	23 相澤 吉悦	24 八木 しみ子	25 氏家 英人	26 関 孝
議案第56号 令和3年度登米市一般会計補正予算（第5号） に対する修正案	可決	22	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議

※採決結果欄 (○)は賛成、(×)は反対、または賛成しなかった者、(欠)は欠席、(議)は議長。

新型コロナ対策補正予算

個人・世帯向け

ときめきプレミアム商品券事業

2億1791万円

事業目的

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、市民生活および市内経済にも大きな影響を及ぼしていることから、登米地域商工会連絡協議会が実施する5割増プレミアム商品券の発行・販売に対して補助し、市民の生活支援および消費喚起による市内経済の活性化を支援するもの。

事業内容

①全市民(約7万7千人)を対象に1人1セットの5割増分(5千円で購入し、7500円分利用)商品券を販売。

②市内全世帯へ世帯人数分の引換券を送付し、購入希望者は市内郵便局で商品券を購入。

③商品券購入者は、市内利用店舗で割増商品券分のサービスを受けることができる。

商品券の販売期間

9月1日～11月末日

商品券の利用期間

9月1日～12月末日

子育て世帯生活応援特別給付金支給事業
(ひとり親世帯以外分)

6337万円

事業目的

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、雇用動向の悪化による収入減少により、低所得の子育て世代を支援するため給付金を支給するもの。

支給額

児童一人当たり一律5万円
※ひとり親世帯分の支給対象となった児童については手当て済み。

対象者要件

令和3年度の住民税が非課税で次のいずれかに該当する方。

①令和3年4月分の児童手当または特別児童扶養手当の支給を受けている方。

②令和3年5月～令和4年3月までのいずれかの月分の児童手当に係る受給資格等の認定を受けた方。

③令和3年5月～令和4年3月までのいずれかの月分の特別児童扶養手当に係る受給資格等の認定を受けた方。



新型コロナ対策補正予算

事業者向け

**ウィズコロナ対応環境整備
構築支援事業**
8041万円

**農業経営収入保険制度加入
促進事業**
2423万円

事業目的

新型コロナウイルス感染症で「新しい生活様式」を実践するための環境整備に要する経費を支援するもの。

交付対象者

市内に事業所を有する中小企業者及び小規模企業者。(宗教法人、性風俗等を除く全ての業種)

補助対象経費

令和2年4月7日以降に、新型コロナウイルス感染症防止のために、必要な対策を講じた経費。

ただし、飲食業者については宮城県が行った「飲食店感染予防環境整備支援事業」の適用開始日(令和3年5月7日)以前の導入分に限る。

補助金額

- ①補助対象経費の3分の2以内
- ②一事業者あたり、3万円から20万円を上限とする。
- ③一事業所、一回のみ。

申請期限

令和3年12月28日まで。

事業目的

農業者に対し、新型コロナウイルス感染症の影響などで農業収入が減少した場合に補填される、農業経営収入保険制度への加入を促進することで、農業経営の維持・安定を支援するもの。

補助対象者

令和4年の農業経営収入保険に加入し、保険料を納付する農業者(法人含む)など。

※農業経営収入保険は加入時に青色申告を行っていることが加入要件。

補助対象経費

農業経営収入保険の保険料の個人負担分(積立金及び付加保険料を除く)

補助率等

補助対象経費の2分の1以内(上限額10万円)

新型コロナウイルス感染症関連減額補正の概要

新型コロナウイルス感染症対策における減額一覧

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、各種事業等の中止等による影響額を各款にわたり減額するもの

(単位:千円)

款	事業等	補正額
2 総務費	国内交流事業 (東京中田会総会、仙台米山会総会)	△ 193
	青少年国際交流事業 (アメリカ・サウスレイク市との青少年海外派遣事業及び受入事業)	△ 4,180
7 商工費	観光・地域交流イベント補助金 (佐沼さくら祭り、佐沼夏祭り、平筒沼桜まつり、みなみかた千本桜まつり、キリシタンの里まつり、もっこり牛まつり、みなみかた花菖蒲まつり)	△ 4,715
10 教育費	宮城ヘルシーふるさとスポーツ祭関連事業 (各教育事務所分含む)	△ 1,777
	社会体育事業 (飯塚杯東北中学校ソフトテニス大会、河北レガッタ)	△ 408
合計		△ 11,273

条例の改正

○国民健康保険税条例の一部改正

コロナ禍における経済的影響の継続が見込まれることから、税率を引き下げるにより、被保険者の負担軽減を図るもの。

- ・均等割の引き下げ
- 医療分2万円
- (現行2万2千円)

境界の変更

○本市と栗原市の境界変更

土地改良事業が施行されたことに伴い、両市の境界を整理後の区画に合わせて変更するもの。

登米市迫町新田字沼崎と栗原市若柳字下畑岡蓮田にそれぞれ編入する面積
7万9934.62㎡



○モデル世帯での比較

夫婦(40歳以上)と子供2人が加入の場合
夫の給与所得 210万円(収入 312万円)

(単位:円)

区分	改正後	改正前	増減
所得割	173,680	173,680	0
均等割	99,200	105,600	△ 6,400
平等割	20,960	20,960	0
合計	293,840	300,240	△ 6,400
税額	293,800	300,200	△ 6,400

財産の取得

○災害対応特殊化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)の購入

現在の化学消防車が導入から19年経過し、不具合の発生頻度も増している。広域災害時の派遣車両でもあることから更新する。

- ・契約金額 7920万円
- ・購入先 古川ポンプ製作所

問 消防車両の入札では、似通った落札が繰り返されてきたが、どう工夫したのか。

答 仕様書作成時は8社から見積り徴取しており、適正な価格を設定した。特殊なものなので入札参加者の枠組みを変えるのは難しい。



更新を迎える化学消防車

市長所信表明(要旨)

平成29年の市長就任以来、常に市民が主役の市政運営、市民の視点に立った市政運営に努めてきたところであるが、この基本姿勢は今も変わらない。

これまでの取組の成果を活かしつつ、将来にわたり持続可能なまちづくりが必要不可欠であると捉えている。

2期目の市政運営にあたっては、4年前の市長就任時に掲げた「安全・安心に暮らせるまちづくり」「地域医療の充実」「教育振興」「人口減少対策」「産業振興」「健康なまちづくり」「効率的な行財政運営」の7つの重点方針を引き続き堅持し、これらを施策の軸とした市政運営を展開していく。特に、2期目にあたっては、「未来へつなぐまちづくり」として、持続可能な市政運営を政策の根幹に据え、事業の選択と集中を行いながら、市政課題の解決に向け、取組を加速させていく。

依然として、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっており、本市においても昨年12月から本年1月にかけて感染が急拡大し、その後も新規感染者が連日確認されていることから、再び感染が拡大しないよう、確実に対策を打ち立てていく必要がある。

また、多発する地震や台風などの自然災害に対しては、しっかりとした災害対策を講じ、市民の安全・安心に資する施策を最優先として取り組んでいく。

登米市が誕生して17年目を迎え、一つの自治体として成熟していく時期に差し掛かっていること認識している。節目となる20年に向けて、財政基盤の強化を図りながら、次世代に大きな負担を残さず、今やるべきことをやらすとして後悔することのないよう、施策を着実に進めていく所存である。

問 市政運営の方向性と課題等を問う

答 市民の安全・安心を主軸に取組む



新・立志の会

八木しみ子 議員



問 新型コロナウイルス禍と子どもへの影響であるが、休校や緊急事態宣言などで外遊びが減り、運動機能の低下など心身への影響はなかったか。

答 休校などで2カ月以上も屋外の活動が制限されたことは、身体機能に少なからず影響があったものと考えている。休業中は教員が個別に自宅訪問し生活面、学習面の対応を行っている。今後も児童生徒の生活面などに留意していく。

について新たな組織を設置するとしているが。

答 長引く新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた対応をはじめ、大規模化する自然災害、原子力災害など、さまざまな危機事案に対し、より迅速かつ的確に対応するため、新たな防災危機対策室を設置し、体制の強化を図る。

太陽光発電施設やバイオマス発電施設の設置が計画されており、早急な対策が必要と考える。ルー化とプロセスは。

答 各地で再生可能エネルギーの導入が進んでおり、自然環境と調和した普及が課題である。本市は抑制区域の設定や住民への説明会の手続きのルー化などを検討しており本年度中にガイドラインの策定を予定している。

その他の質問
・観光振興について

問 市長の所信表明を問う

答 アフターコロナを見据えて支援



大地の会

佐々木幸一 議員



問 アフターコロナにおける市民生活、経済活動の安定、活性化についてどう取り組むのか。

答 飛沫感染防止アクリルパネル、検温システム設置の支援とプレミアム商品券販売、給付金支給など市民生活と事業継続支援に力を入れる。

問 市民バス、住民バス、デマンド型乗合タクシーの組み合わせで住民の足は守れるのか。

答 市民バスなどは利用しやすい運行ダイヤとし、デマンド型乗合タクシーは導入地区の拡大に取り組み、利便性が高く持続可能な地域内公共交通を目指す。

構築するの。

答 機能を分担してさらなる連携強化を進め、医師確保に取り組み、地域医療の拠点として医療の提供に努める。

問 人口減少対策について特に移住、定住対策をどう進めるのか。

答 テレワークの進展で転職を伴わない移住が現実化し、オンラインで移住相談を進める。

その他の質問
・ICT教育の可能性
・放射性廃棄物の処理

問 市長の気持ちの入った所信表明か

答 すべてに気持ちを投入している



太陽・みらい21

氏家 英人 議員



問 市長はこの4年間で何をやるのか。改選後の所信表明にはかなり期待をしていたが残念に思う。コロナ禍ではあっても、市民に夢や希望を持たせるような内容が欲しかったからだ。市長の気持ちが幾らか入っていたのは「初めに」と、最後の「結びに」の部分くらいで、他は各部署が書き上げたものの朗読に思えたが。

答 職員が書き上げてきたものをただ読んだだけというのはあり得ないことだ。4年前は担当職員の助言などを大いにいただいたが、今回は、1から10まで全てに自分の気持ちを入れ込んでいる。相当な時間をかけて作成した所信表明だということとは理解してもらいたい。

ノ一井当デーの試みを

問 市内飲食店のテイクアウト・デリバリーを応援するために、週に一日、月曜日を「ノ一井当デー」とし、中田、南方庁

舎の職員の昼食に利用してもらおうとする。費用もかからず、本市らしい「市民の目に見える応援事業」となると思うが。

答 現在、地元商店応援運動と称して市ホームページおよびフェイスブックにテイクアウトや出前に対応している店を掲載している。まず、職員から協力しようと週一回は利用するよう呼びかけ、微力ながらも売り上げに協力させていただいている。

問 市政運営の7つの軸について伺う

答 市政課題の解決に全力で邁進



ねくすとTome

浅田 琢哉 議員



問 デマンド型乗合タクシーの導入が、市内4地区のみの運行で、他地区に拡大していない理由はどこにあるのか。

答 運営を実施するコミュニティ組織内において、登録者数や利用者数など一定の実績が必要となることから、事業の導入に向けた合意形成までには至っていない。

問 若者の定住のための通信教育課程や大学などの開設予定があるか。

答 新たな学科や学校などの開設に関する情報収集

集に努めながら、市内において高等教育の場を提供できるよう取り組む。

問 市内農林商工業者への担い手育成・起業・創業などの事業展開の支援に要した額と、市内に事業所などを新設した企業への企業立地奨励金の交付額に大きな差があるが、それぞれの費用対効果をどのように捉えているか。

答 地域産業の育成・支援、地域経済の活性化および雇用創出などを目的とし、農林・商工業にお

いて、それぞれ事業展開を図っている。

問 地域拠点（米山地区）における居住誘導区域の考え方は。

答 立地適正化計画では、都市の現状と将来の見通しを検討した上で、都市計画区域内の用途地域内に居住を緩やかに誘導する区域を定めるもので、基本的には各町域における地域拠点に居住誘導区域を設定するものではない。

問 原子力災害になぜ言及しないのか

答 今後、避難計画の実効性を高める



日本共産党市議団
鈴木 実 議員



安全・安心に暮らせるまちづくりについて

問 原子力災害になぜ触れていなかったのか。

答 U.P.Z圏内の本市では、大変重要な課題と認識している。避難計画の実効性向上に努めながら、安全・安心に資する施策を最優先させたい。

問 7月7日から予定しており、9月下旬の接種完了を目指す。

問 抗原検査対象を広げるつもりはないか。

答 国の動向や感染状況により対応する。

問 保健所の支所化について所感。

答 保健所の機能を維持していただくよう県関係部局に要望している。

家族経営農家への支援策はないのか。

答 「がんばる農家支援事業」「多様な担い手育成支援事業」を継続する。

効果的な行財政運営について

問 遊休財産の定義は何か、利活用が見込まれないとの判断基準はどこか。

答 施設などの基準は一概に同じ物差しで判断できるものではないと認識している。

問 ワクチン接種と感染予防対策の啓発で対応する。

問 64歳以下のワクチン接種の見通し。

産業振興について

問 農業振興では、スマート農業の推進を挙げているが、小規模農家、

議会の動き

- 4月
- 2日 広報広聴委員会
 - 6日 議会運営委員会
 - 7日 総務企画常任委員会
産業建設常任委員会
 - 9日 4月特別議会
 - 15日 第73回東北市議会議長会定期総会（書面会議）
- 5月
- 10日 会派代表者会議
 - 14日 初議会
（令和3年第2回定例会5月招集議会）
総務企画常任委員会
教育民生常任委員会
産業建設常任委員会
議会運営委員会
広報広聴委員会
議会改革推進会議
 - 19日 全国自治体病院経営都市議会協議会
第48回定期総会（書面会議）
 - 20日 広報広聴委員会
 - 26日 第97回全国市議会議長会定期総会（書面会議）
 - 28日 議会運営委員会
新人議員研修会
- 6月
- 4日 議会運営委員会
 - 7日 議会改革推進会議
 - 11日 6月定期議会（～7月9日）
総務企画常任委員会
教育民生常任委員会
産業建設常任委員会
タブレット端末操作研修会
 - 16日 議会運営委員会
 - 17日 広報広聴委員会
新型コロナウイルス感染症連絡本部会議
政策企画調整会議
 - 21日 産業建設常任委員会
 - 25日 教育民生常任委員会

※代表質問の録画配信をQRコードからご覧いただけます

問 今後の農業の在り方について

答 関係機関と連携を図り対策する



相澤吉悦 議員

問 国内では食の多様化、人口減少で米の需要が減り、さらに新型コロナウイルスの影響も重なり、大幅な需要減少になる。本市でも米価安定、

農家所得確保のため主食用米の転作面積が4割、しかし5月7日現在、本市の主食用米は生産の目安に対して210ヘクタール超過している。このままでは令和3年産米価は大幅な暴落の危機に直面していく。このようなことから、本市、農業共済組合、JAみやぎ登米、土地改良区などが一堂に会し、今後の農業の在り方について協議し対策を



講じるべきと思うが。

答 登米市農業再生協議会が中心となり、関係機関と連携を図り、国の交付金などを積極的に活用し輸出などの新市場の開拓や、加工用業務用野菜などの高収益作物の生産拡大の推進をしていく。

問 宮城県農業共済組合では、農家所得の減少を補える収入保険は、青色申告者以外は加入できない。白色申告者も加入できるよう、国に要望すべきと思うが。

答 加入要件を青色申告に限定せず、幅広く農家が加入できるように市長会を通じ国などへ要望する。

問 国・県と放射能汚染稲わら処理を話し合うべきと思うが。

答 周辺自治体と綿密な協議をし環境省が無理であれば、直接官邸に訴えるような方法を考える。

問 災害から市民を守る取組について

答 国土強靱化地域計画を推進していく



佐々木好博 議員

問 現在津山町域では「令和元年東日本台風被害」による復旧作業が進行中であるが、復旧整備が進む中でさまざまな「不具合」が発生している。

例えはもくもくランド近くの南沢川では整備により水位が下がり、圃場整備地に給水できなくなってしまう。また、南沢川の支川である伊貝川では逆に河床が高く整備されたため、圃場排水ができなくなっている。

これは整備にあたっての調整・連携不足が原因であり、本市が現在策定中の「国土強靱化地域計画」において、この調整・



津山町整備地への水取り入れ口



連携機能が確実に実行されていく状況でなければ次の災害復旧時にも同じ問題を発生させる。

現在策定中の計画の中ではどのような形でこの調整と連携が図られているのか。

答 南沢川の不具合は整備にあたっての協議不足と認識している。国土強靱化地域計画推進については「県・市」それぞれが横断的に連携して取り

組むことが大切と考える。それぞれの計画をしっかりと確認しながら連携して地域の強靱化に取り組む。

問 水害の減災化には山の整備が大切だ。今計画と共に一体的に進めなくてはならないがどうか。

答 山の適切な管理が防災・減災となる。森林経営管理制度など適切な管理も併せて行っていく。

問 旧米谷相川分教場の保存・保護を

答 議会の判断があれば再度検討する



首藤忠則 議員

問 重要文化財級の建物を登米市民でもない一民間人に貸しているが、その理由と経緯は。また賃料、賃貸期間などは。また賃料、賃貸期間などは。また賃料、賃貸期間などは。

答 遊休財産などは、普通財産への分類替えを基本に、売却、民間などへの貸付けで財産の有効活用と維持管理費の縮減を図ることとしている。借受申請書は、平成21年6月に提出され、同年10月に市有財産利活用推進委員会で審議し、平成23年7月に賃貸借契約を締結した。

その後、2度の更新を経て、現在は令和2年4



旧東和相川部落集会所(旧米谷国民学校相川分教場)

月1日から令和7年3月31日までを貸付期間としており、貸付料は年10万3320円である。

問 平成28年の借受更新申請書には、連帯保証人の署名も押印もなく、借受期間欄も空欄で、しかも市役所に提出されたのは、締切日の約4カ月後である。これを受理したのは特別扱いではないか。

答 申請書の記載事項が不備のまま受理したことは適正を欠くものである。深くお詫言する。

問 歴史的建造物であり、市の文化財に指定して保存・保護すべきと思うが。

答 議会で保存・保護が必要との判断であれば、教育委員会とも連携を図りながら、専門家による建物の評価・意見などをいただき、再度検討する。その他の質問
・市長、副市長、教育長などの給与について



問 企業誘致状況と今後の展開は

答 工業団地の早期完売に向け取り組む



伊藤善博 議員

問 分譲中である工業団地の残り3区画の誘致状況と立地予定はどのようなになっているか。

答 数社からの問合せはあるが、立地に向けた具体的な計画には至っていない状況である。市民の皆様へ広く情報を呼びかけ、早期立地に向けた誘致活動を展開していく考えである。

問 企業立地アンケート調査の回答内容を活用できているのか。

答 平成28年度から令和2年度まで、製造業を対象に延べ8895社にアンケート調査をしてきた。回答の多かった交通アクセス、人材の確保、



長沼第二工業団地分譲中の入り口看板

行政の支援、立地周辺地域の取引企業が存在などを重要視している。企業訪問の際にはこれらの情報を活用し、誘致活動に取り組んでいる。

問 事業分野だけにとらわれず雇用人数に特化した誘致活動の考えはないのか。

答 雇用人数が多く、多額の設備投資が見込める自動車関連産業の誘致に



問 中総体、屋外競技まで無観客か

答 不公平な対応を避けるため妥当



岩淵正宏 議員

問 中学校総合体育大会は、運動部に所属する生徒にとつては最大の成果発表の場であり、目標にしている大会だ。それは支えてきた保護者にとつ

問 中総体2週間前、北上水系野球大会や飯塚杯



総体の前哨戦は有観客(北上水系野球大会)

ても同様である。

無観客開催・撮影禁止を受け、体育連盟に各学校「親の会」から、509通の「観戦についての嘆願書」が提出された。嘆願内容について教育委員会では検討されたのか。

答 体育連盟の対応を尊重した。

テニス大会は、主催に教育委員会、後援に中学校体育連盟で、保護者を入れて開催しているが、屋外競技まで無観客とした理由は妥当と思うか。

答 競技ごとに異なった対応をとることの混乱などで不公平な対応を避けるためにも妥当であった。

問 「嘆願」を受け入れできない理由を前提にすると、運動会や合唱コンクール、卒業式までも保護者を入れることができないと思うが。

答 行事については、各学校が感染対策を講じつつ、参観を判断する。

問 仙台市では、連盟側が何度も健康教育課と協議し、会場ごとに3年生の保護者1名までとか、野球は部員の保護者2名まで、などとしたが。

答 今後の大会は指導・助言も含め、しっかりと協議し、決定していく。



問 南芦倉排水と調整池の管理徹底を

答 しっかりと機能維持に努めたい



曾根充敏 議員

問 石越町芦倉は人家密集地にありながら、地形上多くの雨水が集まる。一方その上流には、高森公園調整池があり一定量の水量コントロールが可能だ。

近年は、その管理がよろそかではないか。

答 先般、排水状況について現地調査した。調整池は洪水調整機能など地域の洪水防止に大きな役割を担っていることを認識している。秋以降に水位を下げて調査を進め、作業を判断したい。

支持される教育行政のためには

問 教育委員会はこれから学校再編をはじめとする



高森公園第2調整池流域図

る大きな取組に向かう。市民の思いを学校再編の進め方にどう生かすのか。

答 再編構想の前期計画に位置付けた地域では、学校再編委員会を設置し、重要事項について意見交換を行っている。

市民の理解と協力は不可欠と考えている。丁寧な説明を行い広く意見を賜るよう努めたい。

問 教育行政について、市民は「上意下達」に感じているようでもある。対話を重ね市民と共に作り上げる教育行政が必要ではないか。

答 100%通じるのは難しいだろうが、誠心誠意努めたい。

情報の発信については、工夫の余地がまだある。



問 処遇改善で消防団員の確保を

答 検討委員会を立ち上げ、協議する



熊谷和弘 議員

し、団員の確保に努める」と述べているが、具体的に、どのように取り組むのか。

問 市長は、所信表明で「消防団については、将来の展望を見据えた適切な分団等の再編、処遇の在り方を検討し、その役割と必要性を広く周知

答 団員確保については、消防団運営会議など

を開催し、情報を共有しながら、消防団協力事業所との連携を深め、確保に努める。
適切な分団などの再編については、「検討委員会報告書」の内容を精査



消防団出初式（観閲行進）

し、消防団員の意見も伺いながら検討する。処遇改善については、検討委員会を立ち上げ、定年年齢の在り方についても協議を行う。

問 多くの支団、分団において活動費が不足していることから、捻出に苦勞しているというのがあるが、把握しているのか。

答 現在消防団一人あたり、1200円を各分団に交付している。対象となる経費が制約されているので改善していきたい。

問 コロナ禍における女性の負担軽減

問 金銭的な理由で生理用品が買えない「生理の貧困」が問題となつている。本市でも支援に取組むべきと考えるが。

答 小中学校、高校のお手洗いへの生理用品の設置などで経済的に困難な女性をしつかり支援する。

問 展示物などのリニューアルについて

答 優先順位をつけて取組む



伊藤 栄 議員

問 教育資料館は、平成元年から一般公開をしている。当時から収蔵品ケース・解説および案内板などは劣化が進み、リニューアルが必要と思うが。

答 これまで小規模な改修をしてきたが、経年劣化によるサビや色褪せが進んでいる。専門機関などの助言をいただきながら整理し、優先順位をつけた上で取り組んでいく。

問 歴史的建造物周辺および寺池城址公園の樹木は手入れがされず、うつそうとしている。これらの樹木は建物とのバランスによる黄金比



上 経年劣化が進む収蔵品ケースなど
下 手入れがいき届いていない寺池城址公園

であることから街路樹同様に入入れをすべきでは

答 軽微な手入れはしているが、景観の維持・保全に向け、適切に管理していく。

問 市民の生命・財産を災害から守る消防団員の担い手不足が懸念されている。

長年にわたり防災などで活躍し、知識・経験豊富な消防団員OBなどを対象とした「機能別消防

団員制度」を創設してはどうか。

答 災害活動時の即戦力として期待されることから、消防団活動の一部を補うことができれば、基本団員の負担軽減につながるものと捉えており、制度導入について今後検討していく。

その他の質問

・旧懐古館の解体
・市道前小路線の改良

問 立地適正化計画の市民意向把握は

答 地域懇談会の開催などを実施



岩瀬正弘 議員

において内容を検討している。今後は議会や本市都市計画審議会などの意見を聞きながら、策定に向けて取組んでいく。

問 これまでの市民の意向把握の状況は。

答 昨年9月に各町域で地域懇談会を開催し、計画の基本的な方針を説明した。参加者が13名と少なかった。



問 本市の今後のSNS活用について

答 一定のルールを作成検討していく



遠藤真理子 議員

問 地方公共団体向け無料公式LINEアカウントをを活用できないか。また、どのように考えるか。

答 市政情報の発信力の強化、災害時における情報伝達手段の拡充にもつながる取組と考える。他の自治体事例を参考に、具体的な取組について検討していく。

問 ホームページ上で子育て支援情報がわかりづらくまとまっていない。子育て支援情報に特化した公式LINEアカウントはどうか。

答 民間業者と連携の上、市民に必要な情報が入手しやすいような取組に向けて検討していく。



栗原市と多賀城市の無料公式LINEアカウントのホーム画面



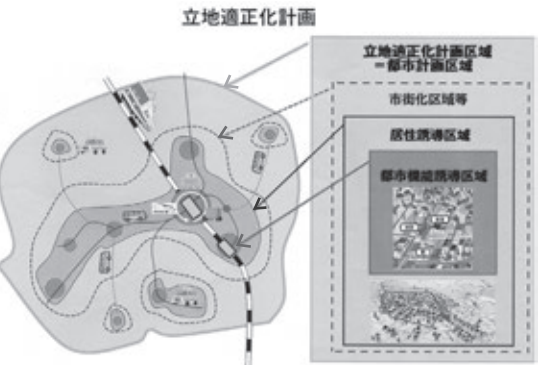
問 市民がホームページを閲覧する手段や割合は。

答 携帯・スマホ等64.5%、PC32.4%、タブレット3.1%だ。

問 20〜30年後をイメージして一人でも多くの市民が自分事としてまの未来を考えるために、Web上でアンケート調査のできるGoogle(グーグル)フォームの活用は

答 使い方も含め、教育支援センターを中心に検討を進めていく。

できないか。
答 非常に効果的な部分もあると考える。今後検討していく。
問 小中学校における情報伝達体制について、教育現場でもWeb上のアンケート調査の活用はどうか。
答 使い方も含め、教育支援センターを中心に検討を進めていく。



将来のまちづくり

問 バイオマス発電所建設について

答 生活環境、自然環境を最優先する



永島順子 議員

問 東和町米谷に、食物残渣を原料とするバイオマス発電所建設が予定されている。住民からは処理水の放出などによって、ゲンジボタル、三滝

堂ふれあい公園、錦織・米谷浄水場に悪影響が出るのではと懸念の声が上がっているが。

答 いったん壊したら戻らないものは必ずあり、それは何にも増して優先すべきと考える。住民の生活環境、自然環境を守ることは市の努めである。

問 国のガイドラインでは、事業者は企画立案の



悪影響が懸念される三滝堂ふれあい公園

初期段階から自治体に相談して、地域住民との関係構築を図るとされている。市は事業者が最初に訪れた時に、まずは住民との関係構築を求めるべきではなかったか。

答 国のガイドラインについて事業者が話してはいない。二回目以降、本市開発指導要綱の届出について説明している。

問 市は住民の懸念事項についても調査し、住民の理解を得られなければ、協定の締結はするべきではないと考えるが。

答 協定書締結については、慎重に進めていく。

子育て支援について
問 ファミリー・サポート事業は協力会員が少なく、子育てグループなど民間との連携が重要では。

答 協力会員を確保し、事業の活性化に努める。

問 新教育長に教育行政の方向を問う

答 来年1月まで振興計画を策定する



田口政信 議員

問 教育振興計画の策定が遅れているが現在の進捗状況は。

答 計画策定委員会を設置し、内容調整をしており、意見公募や総合教育会議を経て教育委員会では協議し、令和4年1月ころを策定目標にしている。

問 国は第3期の振興計画ではSociety5.0（ソサエティ5.0）に向けた取り組みを示唆しているが教育の場で取組めるのか。

答 AIなど、どんどん進化しているので対応できる子供たちを育てていくが、機械だけに頼ることなく自分の頭で考える育て方をして行きたい。



上 南方中学校のタブレット端末
下 教育支援センター内

問 国は、GIGAスクール構想でICT化に向けた環境整備を充実させてきたが、十分な機能を発揮するためには教育支援センターの役割が大きいと思う。今の陣容で大丈夫か。

答 今いる人員で精一杯対応していくしかない。

問 第2次登米市総合計画にSDGsの考え方を取り入れ、教育部門にも入れ込んでいるがどう具合か。

答 令和12年までの合併特例債の期限があるので、しっかりと検討していく。

問 学校給食費の無償化を

答 今の体制状況では厳しい



工藤淳子 議員

問 コロナ禍で保護者の収入が減少し、子どもの生活に大きく影響している。全国で62自治体が給食費の全額補助を実施している。本市でも実施できないか。

答 就学困難な児童には就学援助制度で支援している。

問 小中学校の給食費は月当たり小学生4100円、中学生は4900円で、2人子どもがいると、年間10万円を超える。無償化が無理であれば、せめて学校給食費に対する補助はできないか。

答 今の体制状況では厳



学校のトイレに生理用品の配備を

問 節約のため毎月の生活必需品である生理用品を購入することができない実態がある。学校のトイレに生理用品を配備すべきではないか。

答 小中学校・高校のトイレに設置し、保健室・自立相談支援センターにも配布、防災備蓄にも加える。設置場所や配布方法などを工夫していく。

中心拠点施設の再編案と市立病院について

問 市役所庁舎と市民病院の移転新築という再編案はハコモノ中心であり、今後の市政の在り方が厳しく問われている。今後、議会や市民との意見交換が必要では。

答 あくまでも立地適正化計画後の再編で、たたき台として示したもの。

問 基幹産業である農業の展望について

答 国、県、関係団体と一層の連携を図る



熊谷康信 議員

問 米政策改革により失われた需給バランスの再構築について、本市独自の取組を検討する考えはないか。

答 「地域とも補償」の再構築については以前にも検討はしたが、対象者が未加入になる恐れがあるため現時点での考えはない。

問 農家所得を維持するため、稲作転作（飼料用米）の推進を図るには、JAみやぎ登米をはじめとする集荷業者との受け入れ態勢の確保が肝となるのではないか。

答 JAも含めた市内集荷業者にも受け入れ態勢について、調整をしてい



南方小学校5年生の課外学習の田植えの様子



ただくよう働きかけをする。

問 農家意向調査によると専業農家の世代別構成比は60代以上で8割を占めており、今後の本市の農業が大きな転換期を迎える。大規模な基盤整備事業、農地集積、農地バンク活用を図り、作業効率の向上が必要不可欠である。また、スマート農業の推進を図るため、R

TK型GPS基地局整備についての今後の展望は。

答 大規模化あるいは機械化、スマート農業といったところが重要と考えている。国・県も絡めて本市農業の在り方を考えていく。

その他の質問
・若者が定住するまちづくりについて



学童クラブでのおやつ作り

問 コロナ禍、電子図書館整備急げ

答 前向きに考えてみたい



中澤 宏 議員

電子図書館が急増している。今すぐにでもできる電子図書館の設置も可能ではないか。

答 可能な限り前に進めていきたい。

新たな図書館の整備

問 図書館整備については、他市より極端に遅れている。電子書籍の購入がコロナ対策で認められたこともあり、全国的に

陸上競技環境整備

問 石巻市議会は、陸上競技場基本構想策定業務委託を6月補正予算で可決した。本市にも共同設置、共同利用の打診が



将来の医療需要を予測し、新たな建設が考えられる市民病院

あったと聞くが、どう検討されたのか。

答 正式にはない。今後そうした話があるかもしれない。

病院建設について

問 立地適正化計画（まちづくり計画）が通らなければ、病院は建設しないのか。

答 新たな病院建設について研究している。

一つは、地域医療介護総合確保基金で建設費の3分の2の交付、残りは県からの交付。この二つの大きな交付措置、補助措置があるということを承知している。

問 定住者を軽んじた施策ではないか

答 政策を精査し、実現・具体化する



須藤幸喜 議員

問 市長は「未来を担う子どもを安心して産み育てられるまちを目指す」「社会全体で子どもの育ちを支援してゆく」としているが、定住者を軽んじた施策になってはいないか。

答 本市では、子ども・子育て支援事業計画に基づき、幼保連携型認定こども園の設置、子育て支援センターの運営および一時保育事業など、健やかな育児ができる支援体制を整備している。子どもを安心して産み育てられるまちづくりを目指すし、さまざまな課題を解消しながら子育て支援の充実を図る。



— 第二次登米市総合計画 —
— 本当の「住みたいまち」に

問 本市への移住者、Ｉターン・Ｕターン者など、あらゆる施策を講じての人口増加推進は大いに賛同するところではあるが、「人口を減らさない」「定住者に思いを寄せる」施策も重要ではないか。

答 人口減少は労働力の減少、消費が減るなどの経済規模の縮小を招き、小売店や飲食店の撤退、税収などの減少による行政サービスの低下など地域社会の衰退をもたらすことから地域社会を維持していく上で人口減少に歯止めをかけることは自治体にとって喫緊の課題である。

問 コロナウイルス感染症の対応策は

答 予約なしで身近な施設で接種する



日下 俊 議員

問 65歳未満の接種はいつ頃までに完了するのか。

答 65歳未満の接種については、各町域10会場において行い、9月末の完了を目指したい。

問 高校生の接種はいつ。

答 夏休み期間中に実施。

問 小中学生については。

答 国の方針が示されてから取組んでいきたい。

問 予約なしの方法で行ってきた経緯は。

問 65歳以上の接種において問題や課題はないか。

答 会場によっては冷房がない場合や会場移動の設営労力がかかること、医師看護師の確保に苦慮。



問 ふるさと記念館の案内板の修繕は

答 修繕費を本年度の予算に計上した



佐藤千賀子 議員

問 市内各所に観光名所などの案内板が設置されている。

その中で、中田町にある石ノ森章太郎ふるさと記念館の案内板は塗装が古くなり、ただの柱のようなものが道端に建っている状況に見える。

早急な修復・新設の考えは。

答 当該看板は、平成13年に開催された宮城国体の物を活用している。

修繕に関しては、本年度予算に修繕費を計上しており、現在、「仮面ライダー」などの著作権を管理する石森プロなどの関係機関と協議を進めている。



塗装が薄くなった看板



協議が整い次第、修繕を行っていく。

グリーンキャンブなかだの除却後の取扱いは

問 グリーンキャンブなかだは、奥羽山脈と北上山地が接する位置にあり、珍しい動植物が確認できる素晴らしい場所である。

先の2月定期議会では除却後の方向性が示され

たが、地域住民との話し合いは持っているのか。

答 説明を行う範囲も含め、これから地域の意見を聞きながら考えていきたい。

説明会については、できるだけ早い機会に現地ですっきりと行う。

問 予約する煩わしさや接種券が手元にある安心感などからハガキ方式にした。

問 ワクチン接種をしない方へ再勧奨はするのか。

答 ハガキで再勧奨する。

問 会場設置のいらないドライブスルー方式は。

答 効率的だが、予診問診の必要性や接種後の観察面から行わない。

問 ワクチン保存冷凍庫は単独電源で供給し温度管理をしているか。

答 冷凍庫は市民病院に設置し停電などに対応。

問 65歳未満の接種が始まるが、平日14時から19時までの予定を、1時間繰り下げられないか。

答 医療スタッフの勤務体制や、会場整理の関係で19時までと決定した。

問 市内商工業者支援の具体的政策は。

答 さまざまな営業補償や事業者支援を考える。

令和2年度 政務活動費収支報告

政務活動費は議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派または会派に属さない議員に対し、議員1人当たり月額2万5千円を交付しています。

令和2年度の政務活動費については、新型コロナウイルス感染症により、市民生活や地域経済に大きな影響が出ている状況に鑑み、一日でも早く市民の安全・安心が取り戻せるよう早急な市の支援対応に係る経費に充てることを目的として、政務活動費の額を暫定的に月額1万2千5百円に減額しました。

登米市議会では使途の透明性を図るため、収支報告書に全ての領収書の添付を義務づけています。また、支出額が交付額に満たないときは、その残額を返還することになっています。なお、収支報告に係る関係書類はどなたでも閲覧でき、ホームページでも公開しています。

(単位:円)

会派および議員名	大地の会	新・立志の会	太陽・みらい21	日本共産党市議団	令和の会・登米	須藤幸喜	熊谷和弘	浅田 修	伊藤 栄	計
議員数	7人	5人	4人	2人	2人	1人	1人	1人	1人	24人
交付額	1,050,000	750,000	600,000	300,000	300,000	150,000	150,000	150,000	150,000	3,600,000
支出項目	調査研究費	168,000	120,000	96,000	48,000	48,000	24,000	24,000	24,000	576,000
	研修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	18,430	0	72,420	0	0	0	0	0	90,850
	資料購入費	0	0	0	0	0	0	0	34,368	34,368
	広報費	0	0	424,515	0	126,000	0	0	0	550,515
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支出合計	186,430	120,000	592,935	48,000	48,000	150,000	24,000	24,000	58,368	1,251,733
戻入額	863,570	630,000	7,065	252,000	252,000	0	126,000	126,000	91,632	2,348,267

令和3年度

会派構成

会派とは、政策を中心とした同一の理念を共有する議員の集団をいいます。また、会派を構成することにより、効率的な議会運営ができます。

※ 会派を結成するには2人以上が必要です。

新・立志の会

代表 岩淵 正宏
経理責任者 佐々木 好博

伊藤 善博
永島 順子
日下 俊
八木 しみ子
関 孝

大地の会

代表 佐々木 幸一
経理責任者 佐藤 千賀子

首藤 忠則
武田 節夫
中澤 宏

太陽・みらい21

代表 氏家 英人
経理責任者 曾根 充敏

及川 昌憲
田口 政信

ねくすとTome

代表 遠藤 真理子
経理責任者 浅田 琢哉

熊谷 康信

日本共産党市議団

代表 工藤 淳子
経理責任者 鈴木 実

今、思う事



鈴木きぬゑさん (南方)

世の中は、新型コロナウイルスにより緊迫した空気が続き不穏な日々を過ごしています。そのような最中、思いもよらぬ病気に向きあうことになり、コロナ禍で人と接する機会も減り、病気のことを隠し通せたならと考えました。二カ月程度悩み、意を決して近所の人達に自ら打ち明けました。その後は誰とでも話ができるようになりました。とても気持ちよくなりました。ようやく以前の自分に戻れたような気がしました。閉じこもっていてもいいかもしれませんが、益々病気が悪化してしまいます。多くのひととの会話や外出することが元気の源だと感じました。今日、テレビなどでワクチン接種予約に困難を極める中、我が登米市の手法は全国でも例を見ない政策でとても名案だったと思います。今後市や議会、住民が一体となって住みよい暮らしが送れるよう望みます。

里山での牛飼ライフ



佐藤 太朗さん (東和)

東和町の米川で和牛繁殖を営んでいます。元々実家で数頭の繁殖牛を飼育していたことがきっかけで「将来の仕事は牛飼」と幼い頃から心に決め現在に至ります。宮城県農業高校、岩手県農業大学校に進学し、二年間の牧場勤務を経て昨年新規就農したばかりの若輩者ですが、このような貴重な機会を頂きありがとうございます。私は地元地域に増えつつある遊休農地や耕作放棄地を利用した周年放牧を取り入れ、牛を飼育しています。低コスト、省力化につながり、地域にも自分にもメリットがあると思っています。まだわからない事も多いですが、手応えを感じつつある日々です。地域に眠る資源を有効に活用しながら、里山での生活を今後も楽しんでいけたら良いと思っています。

市に思う

それと、富くじ特区の取得です。一口100円。この利益全部を、市の公共事業に充てん。財源確保の一つです。

さらに、イベント課を作ってもらいたい。市全体のイベントを扱う課です。イベントへのお金の使い方も間違っています。最後に、各地区の特徴をもっと有効に考え、活用してもらいたい。



千葉 重弘さん (石越)

議員表彰

第97回全国市議会議長会定期総会において、長年にわたり市政の振興に努めた功績により、4人の方々が表彰されました。

◎特別表彰

(議員在職25年以上)

伊藤 栄 議員

◎一般表彰

(正副議長在職4年以上)

及川 昌 憲 議員

(議員在職15年以上)

工藤 淳 子 議員

(議員在職10年以上)

日下 俊 議員

※在職年数については合併前の町議会議員としての在職年数を考慮したものです。



あとがき

今回の第68号より、広報広聴委員会は新メンバーで活動をスタートしました。編集委員9名中7名が新人で、2名が再任となっております。

6月定期議会は、市長の所信表明から始まり、新人議員を含め23名が代表質問・一般質問などをおこないました。

各議員が想いを込めて発言した内容や議案審議、各常任委員会の活動報告など、市民の皆様へわかりやすいよう発信する努力をしてまいります。

結びに、本市を含め各地残暑が続きますので熱中症予防し、お身体をご自愛ください。

(伊藤 善博)

広報広聴委員会

委員長 佐々木好博

副委員長 伊藤 善博

委員 熊谷 康信

委員 浅田 琢哉

委員 遠藤真理子

委員 鈴木 実

委員 永島 順子

委員 首藤 忠則

委員 曾根 充敏

議長 関 孝

議会からのお知らせ

新型コロナウイルス感染症対策に伴う議会傍聴について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今後、本会議並びに各種委員会等の傍聴の自粛をお願いする場合があります。

9月定期議会

9月3日(金) 予定

本会議はこれまでどおりインターネット中継でご覧になれます。

なお、ご不明な点等がございましたら議会事務局までお問合せください。

議会中継がスマホで見られます。



※スマートフォンでの視聴はパケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信料が高額になる場合がありますので注意してください。

議会のホームページを開設しています。

登米市議会 検索

議会のホームページでは、議会の情報をお知らせしています。

<https://www.city.tome.miyagi.jp/gikaijimu/shisejoho/gyose/shigikai/index.html>

議会のfacebookも開設しています。

登米市議会



いいね！をお願いします

